

2009年度始業式式辞

校長 郷 峰男

- 皆さん「おはようございます。」
- 桜の花が美しく咲き誇り、野山には新緑の息吹を感じる春が今年もまた巡ってまいりました。春は多くの動植物が躍動を始める季節です。
- 皆さんにとっては、ここに、始業式を迎え、心を新たにし、それぞれの夢や希望の実現を目指して動き出す時であります。
- 2009年度の学校教育を始めるに当たって以下三点のお話をしておきます。
本年度は、1918年4月（片桐竜子先生、裁縫塾を開設）に学校が創立されてから91年目に当たる年です。2018年には創立百周年を迎えますが、その時には本校が一層「輝いた学校」であるように努力するスタートの年であります。

- (1) 本年度もあなた方が主役です。先輩達が築いた昨年度の実績を超えることができるように**＜高い目標を掲げて、目標実現のために集中し・継続して学習と部活動に取り組んで下さい！＞**

輝かしい本校の歴史と伝統に、皆さんの努力で、新しい歴史と伝統の1ページを加えていただきたく思います。

- ①そのためには、済美高生として、建学の精神「神を畏れることは知識のはじめである。」を常に意識した生活を送り、本校に学ぶ自信と誇りを持って学習や部活動に取り組んで下さい。
- ②また、本年度は教育目標を、目指す生徒像として、①福音主義キリスト教学校で真剣に学び、豊かな心情を身に付けた生徒 ②日々の学習と部活動に積極的に取り組み、自己の可能性を伸長し、夢や希望を実現する生徒 ③端正な身嗜みで挨拶が励行でき、基本的な生活習慣が確立している生徒 と決めました。

これらの姿を実現してくれることを期待しております。

- (2) 本年度も皆さんの「確かな学力」をはぐくむために教科指導を大切にします。

＜学ぶことから決して逃げることなく50分の授業を大切にして、「確かな学力」を身に付け、自己の進路希望を実現して欲しいと思います！＞

- ①そのためには、自分を諦めないで、勇気がいらしますが、分かるところまで降りて、コツコツと毎日少しづつで良いから学習に励むことです。学問に王道無し。
- ②また、毎日行われる授業を大切にして下さい。ベルが鳴ったら直ちに授業が開始できるように休み時間中に教科書やノートを準備しておくことです。
済美高等学校を、真剣に学ぶ者で溢れる「真の学舎」にしてください。

- (3) 最後に、旧約聖書の哀歌第3章22～23節（p1289）『主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝毎に新しくなる。「あなたの真実はそれほど深い。』を紹介しておきます。**＜どんなに辛くとも朝の来ない夜はない。自己を磨いて、すばらしい「済美高校生」となってください！＞**

- 皆さんが、自己を諦めることなく、自己を信じ、自己の才能を最大限伸ばしてくれることを期待して始業の式辞と致します。